

五島列島ジオパーク構想活動支援助成金
事業成果概要【公開用】

事業名	五島列島形成史復元プロジェクト 2
事業の種類	調査・研究事業 / 普及・啓発事業 ※該当する事業に○を記載願います
所属・事業実施者	九州大学地球惑星科学部門・清川昌一
事業期間	2021 年 7 月 1 日 ～ 2022 年 2 月 28 日
関連分野	地質学 ※事業の分野（地質学／考古学／普及・啓発／保全など）について記載願います
キーワード	年代測定 地質層序 堆積場復元 ※事業に関するキーワードを 3 点程度記載願います
対象地	福江島，奈留島，中通島（福江島との対比のため） ※事業対象の地区や地名（複数の場合は全て）を記載願います

事業成果の概要

※事業の実施が分かる写真を添付してください。

※小学6年生が理解できる文言で記載をお願いします。

＜調査・研究事業の場合＞

1. どうして調べたのか（背景・目的）

五島列島の最も古い岩石を探すこと

海岸線に露出する岩石地層はどのような順番で堆積したり、火山活動起こったりしたかの歴史を暴くため.

一体五島列島は元々どんな場所で生まれたのか調べる.

2. どうやって調べたのか（調査・研究手法）

地質調査を行い、地層の積み重なりや地層ごとのさぐり、順番を決めた後、地層が形成した年代値を岩石に含まれるジルコンという鉱物から分析によって明らかにする.

3. なにが分かったのか（結果と考察）

五島列島の岩石中に含まれるマグマが岩石が変わるときにできるジルコンという鉱物は、五島層群から五島流紋岩類まで、25 億年前、18 億年前、2-3 億年前、1 億年前のものが多く含まれている. これは、川がそのような時代の地質を持つ大地から流れてきたことを示す. この年代を持つ大地は中国大陸に分布しており、過去の揚子江および黄河から流れてきた川によって運ばれたものです.

あとは、最古の岩石は南部海岸線の力尾崎—カヤバ浦から星山断層の間の火山碎屑岩類の部分で、礫をふくむ火山性の地層とそれを貫く貫入岩類からなっていた. これらは大地が裂けるときの火山活動とその時におこる巨大堆積盆に堆積した地層である. つまり、五島層群は火山活動とともにおこる大地の裂け目にたまった地層であった.



図1 カヤバ浦北海岸

火山岩の基質に様々な礫が含まれる、淘汰の悪い礫岩層.

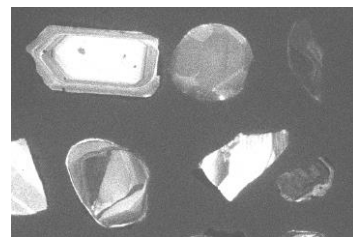


図2 ジルコン電顕写真